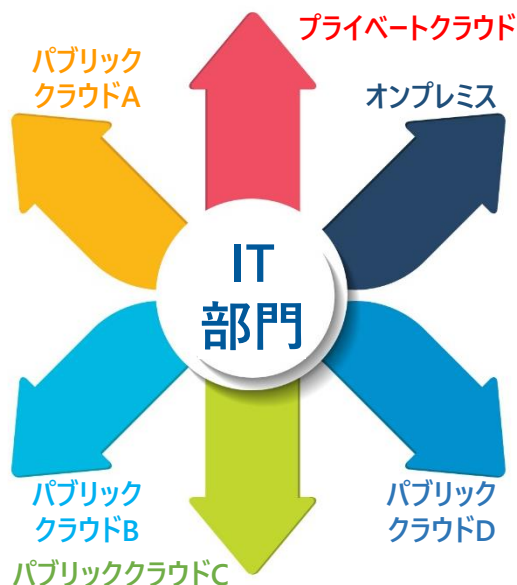




CTCクラウド基盤サミット2019

クラウド移行の最新動向について理解を深める半日



次のような方にお勧めいたします

- システム更改を機に新たなIT基盤を検討している方
- ITインフラの運用改善を図りたい方
- 次期IT基盤のロードマップを構想中の方



- ▶ 日程 2019年7月3日（水）
13:30～17:40
- ▶ 場所 赤坂インターシティ AIR
- ▶ 主催 伊藤忠テクノソリューションズ
- ▶ 定員 200名

従来の企業システムはオンプレミスが中心でしたが、近年ではクラウド利用が進み、オンプレミスに加えてクラウド環境で構築されてるシステムも増えています。結果的にハイブリッド・マルチクラウドの状態になり、予期していなかった新たな課題も顕在化しています。オンプレとクラウドが混在した環境において考慮すべき最重要課題を明らかにします。

時間	プログラム
13:30 - 14:10	<p>ゲスト講演 ガートナー ジャパン株式会社 アナリスト登壇 ガートナー ジャパン株式会社 リサーチ&アドバイザリ部門 テクノロジ&サービス・プロバイダー、ITインフラストラクチャ・テクノロジ担当 シニア ディレクター、アナリスト 桂島 航氏</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>講演者プロフィール： ガートナー ジャパン入社以前は、VIEムウェア株式会社のチーフエバンジェリストとして、日本におけるエバンジェリスト活動とプロダクト・マーケティングの責任者を務めたほか、ジュニパーネットワークス株式会社にてマーケティング本部長、NECにて米国および日本を拠点とするR&Dおよびプロダクト・マネジメントのポジションなどを歴任。IT業界で20年以上の経験を有し、クラウド、仮想化、ソフトウェア・デファインド、コンテナ、ストレージ、ネットワーク、運用管理など、ITインフラストラクチャに関する幅広い知見を有する。</p>  </div>
14:10 - 14:30	<p>意識調査に見るクラウド市場動向 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウド・セキュリティサービス本部</p>
14:30 - 15:00	<p>マルチクラウド環境におけるネットワークの課題と解決策 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 データセンターサービス本部</p> <p>クラウドも今や適材適所で選ぶ「マルチクラウド」の時代。利便性は増す一方、複数のクラウド環境を持つことで「トラフィック負荷の増大」や「ネットワーク運用管理の煩雑化」という新たな問題が生じています。「SD-WAN」はその解決策となるのか？クラウド接続の使い分けはどのようにすればよいのか？本セッションでは、マルチクラウド環境をより快適にするためのネットワーク接続方法について解説します。</p>
15:10 - 15:45	<p>クラウドファースト時代のセキュリティ課題と対策 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウド・セキュリティサービス本部</p> <p>昨今クラウド利用が活発化しているにも関わらずセキュリティ対策は数年前から変化無しという企業が大半です。そのため、セキュアなクラウドサービスを利用しているにも関わらず情報漏えい事故を起こすケースは後を絶ちません。多くのクラウドサービスは責任共有モデルを採用しており、ユーザもセキュリティに配慮する必要があります。本セッションではこうしたクラウド時代に考慮すべきセキュリティについて解説致します。</p>
15:45 - 16:20	<p>Oracleのクラウド移行課題がついに解決！ Oracle Cloud東京リージョンを活用したマルチクラウド実現方法 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 東日本統括本部</p> <p>オンプレミスのOracleと完全な互換性があるOracle Cloud。今年の5月に東京リージョンが稼働開始となったことでOracleのクラウド移行に関する検討課題がいよいよ解消されると期待する方も多いのではないのでしょうか？クラウド移行した際の既存Oracleライセンスの影響や、Oracle Cloudがどのような課題を解決するのかなどの疑問をわかりやすく読み解きながら、マルチクラウド実現方法について語ります。</p>
16:30 - 17:00	<p>AWSへの大規模移行を見据えた「クラウドジャーニー」のススメ 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウド・セキュリティサービス本部</p> <p>AWSの利用が進む中で、さらなる活用を目指してシステムの移行を考えると、その方式や、ダウンタイム、移行後のコストに目が行きがちですが、事前に考慮すべきことが多数あります。単なるリフト&シフトでの移行ではなく、クラウドネイティブなシステム構成を検討する必要性や、DevOpsの推進などの課題も出てきます。AWSの大規模移行を見据えた『クラウドジャーニー』の全容をご紹介します。</p>
17:00 - 17:40	<p>情シス部門が求めていた、大規模クラウドシフトを可能にする最新トレンド 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 クラウド・セキュリティサービス本部</p> <p>次の仮想化基盤としてクラウドの活用を検討している方も多いかと思います。そんな中、大規模VMware基盤をターゲットとした新たなクラウドサービス「VMware Cloud on AWS」と、移行技術「VMware HCX」が登場した事により、今後数年の間にクラウドシフトが本格化していく事が予想されます。その背景と概要、マルチクラウド化していくシステム環境の中で「CUVIC」MMCP（マルチクラウド運用支援サービス）の活用メリットについて解説いたします。</p>

※プログラム内容・タイムスケジュールは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

Rev_2.0

お申込

<https://www.business-on-it.com/event/190703-ctc-summit/>

お問合せ

お問合せ先 | CTCクラウド基盤サミット事務局
 ctc-summit-1@ctc-g.co.jp 03-6420-4890

